

緑が濃くなりました。これから本格的な夏です。
熱中症に気をつけて、こまめな水分補給をしましょう。

デイサービス八重桜本店

【父の日】



年に一度、素直な感謝を。本日は父の日ということで、父の日レクリエーションを開催しました。母の日イベントと同じく、男性ご利用者さまにプレゼントを渡して記念撮影という流れです。職員から父の日の感謝の言葉を送り、いよいよプレゼントへ…と、その時サプライズがアフロのかつらに腹顔の職員が乱入して、一芸を披露するプレゼントです。会場は大爆笑の嵐に包まれ、いい雰囲気です。会場の写真を撮影ができました。笑顔の方、決め顔の方、皆さまそれぞれにいい表情で写真に納まっています。プレゼントを受け取られた皆さまもいい笑顔で、職員も温かい気持ちでいっぱいでした。恥ずかしくてなかなか口に出せない思いも、言葉にするや相手に向かって届くことを再認識できました。感謝の気持ちを忘れずに、これからもご利用者さまに笑顔を沢山届けられればと思います。

【俳句教室】

俳句教室は、女性のご利用者さまに人気のレクリエーションです。この日も皆さまでワイワイ言いながら俳句に取り組まれていました。皆さま決められた季節をつまみ取り入れながら、時には御自身の体験を、時には季節の情景を素晴らしい言葉に表されていきます。ご利用者さまに交じって今回は職員も一句詠むことにチャレンジしてみました。悪戦苦闘しながらなんとかひねりあげ、ご利用者さまの前で発表する予定です。

「これはいい句ですね」と褒められたり、「これは何言ってるか分からへん」と迷句に困惑されたり。俳句作りにとごまらず俳句の論評会にまで発展して、今回の俳句教室も充実した時間となりました。



地域包括ケアシステムと訪問看護

西 勝康

先月号で看護師が地域包括ケアシステムの重要な役割を担うとお話しました。その訪問看護師の所属する訪問看護ステーションが、地域包括支援センターを中心として医療機関や介護サービス事業所と連携することで、医療と介護をつなぐ役割を担うことを求められています。

そして二〇二五年を目前にして、これからの訪問看護には次の四つの項目が課題になっています。それは①訪問看護の量的拡大、②機能拡大、③質の向上、④地域包括ケアへの対応です。

八重桜が特に注目するのは②の機能拡大です。それは従来から重症度の高い利用者への対応が中心になってきましたが、比較的軽度の方に対しても予防や相談機能を発揮していくという考えです。何故ならば二〇二五年問題の本質は団塊の世代の圧倒的な人口の多さです。六百万人という数の人が医療、介護の世話

になる確率が上がる七十五歳以上の後期高齢者になるからです。

私たちの経験でいいますと、デイサービスも有料老人ホームも利用者の平均年齢は八十四〜八十五歳です。ですから後期高齢者層に入ったらできるだけ早目に要介護予防、認知症予防に取り組みることが将来更に高齢になった時にも長く元気でいられるために大変重要なこととなります。

在宅生活を支えるのは医療、介護、生活支援サービスです。

このスキームの中に看護師の訪問を取り組むことによって、まだ重度ではない人の生活を看護師目線で看護することができ、医療と生活の質を保つことが現状の維持、向上に繋がる事になるでしょう。

次号では訪問看護の「早期の介入」についてお話し致します。



桜の広場

デイサービス八重桜 朱雀

【屋台ゲーム】



いよいよ梅雨入りして、ジメジメと蒸し暑く感じられる日が続きます。梅雨の時期と言えば紫陽花が各地で色鮮やかに咲いており、季節の変わり目を感じさせられます。さて、八重桜朱雀館では「屋台ゲーム」をしました。お祭り屋台によく出ている食べ物やイメージ、写真を貼って「お好み焼き」「や」「田玉焼き」を何十枚も作ります。二名対抗で時間内に一番多くひっくり返した方が勝ちのゲームです。返し器具はうちわです。本物に似ているので観客のご利用者さまは「お好み焼き食べたい。私は田玉焼きが食べたいな」と言っておられる方も…思うように返せなくてイライラされている方や、慣れた手つきでヒョイヒョイと返される方もいました。笑いと歓声に包まれて、優勝した方は十八枚も返しておられました。これからどんどん暑くなってくるのでこまめに水分補給をしましょうね。

【父の日イベント】

本格的な梅雨の時期に入り、外は紫陽花の花が色鮮やかに咲いてきました。さて、八重桜朱雀館では待ちに待った「父の日イベント」を開催いたしました。

「お父さんへ感謝の気持ちを込めて…」という事で時代劇を上演しました。お題は皆さまが大好きな『暴れん坊将軍』です。

その劇はナレーションから始まりました。

のどかな朱雀の町で一人の可愛い町娘が悪代官によって攫われてしまいました。異変に気付いたくノ一は上様に報告にあがり上様の命令により手下を撃破しました。悪代官は命乞いをしますがバツサリと切られてしまいました。町娘とお父さんとの再会も果たせ周りの観客も大盛り上がりでした。最後はスタッフ、ご利用者さまと共に「マツケンサンバ」を歌って踊って楽しい時を過ごせる日となりました。プレゼントをお渡しして記念撮影。スタッフとご利用者さまと共に劇が出来て楽しい一日となりました。



デイサービス八重桜 押熊

【双六ゲーム】



皆さまと双六をしました。スタッフ手作りの双六です。停まったマスで出される課題は、「腕を回す」「首を一回まわす」「手の上げ下げ」「回」といった身体を動かすものや、「馬の物まね」「猫の鳴き声」「ゴリラの物まね」等、動物の物まねや鳴き声を出すもの、さらには「好きな歌を歌う」「行きたい所」「隣の方の良いところを言ってもらおう」など多種多様です。皆さま、頑張ってお取り組み、全員がゴールするまでゲームを行いました。一位でゴールされた方に、感想を聞いてみました。

「まさか一位でゴールできるとは思っていませんでしたから嬉しい。でも、ゴリラの物まねは二度といたくないわ。」と笑いながら話をしてくれました。

他の方々も楽しかった「また、しよう」と話をされ、楽しい時間を過ごしました。

【父の日】

母の日に比べると忘れられがちな父の日。皆さまは、父の日は何を送られますか。毎日の生活で使える日用雑貨がおすすです。いつも使うアイテムだからこそ、お父さんのライフスタイルにマッチしたおしゃれなものをプレゼントすると喜ばれます。例えば、身だしなみの必需品であるメンズハンカチはいかがでしょう。デザインやカラーのバリエーションが豊富で、父親好みのものを選びやすい点でも人気を集めています。

他には、眼鏡を愛用しているお父さんへのギフトとしては、眼鏡ケースが人気です。毎日手に取るので、長く使っても飽きのこないデザインの商品をプレゼントしましょう。涼しげなメンズ扇子に名前を入れたものは、父の日の季節にぴったりの特感のあるプレゼントとして注目されています。また、お酒や食事などと一緒に過ごす時間をプレゼント、なんかも素敵ですね。



デイサービス八重桜 平城

【父の日集り】



今年の父の日は「父の日」の三文字を星の切り絵、折り花、無地の紙コップを使って、テーブルいっぱい大きく描くというユニークな設定です。そのテーブルを囲んで、勢ぞろいしたお父さん達お一人お一人のお姿から厳格、優しさ、思いやりなど、様々なイメージが湧き、幼い頃のお父さんとの思い出が甦って来ました。テーブルを囲んだお父さん達の外側を女性のご利用者さま達が二重に囲みます。スタッフからの感謝を込めてのひと言に、満面の笑顔と共に涙の光るシーンも。引き続き、お父さんお一人お一人に、ご自分の願いを心に込めて、星の切り絵を三文字の一面に添えていただきました。

お父さん達とスタッフが鳴らしたクラッカーの音が室内に響きます。祝いに幸運をもたらすという意味もあるクラッカーの音で、この一年、良い年であります様に。

【カエル】「でんでん虫」のちぎり絵

「ちぎり絵」は、色とりどりの折り紙を小さくちぎっていく作業から始まりますが、今回は新聞紙も使用して、ユニークな作品ができていきます。テーマは「カエル」と「でんでん虫」で、まず、大きな色画用紙に下書きした絵の輪郭をちぎった新聞紙で浮かび上がらせていきます。輪郭からはみ出さない様に、一枚一枚、丹念に貼って行く作業には集中が必要で、お互いの連携、お手伝いしているスタッフとの連携も大切です。「小さい時、工作が好きでよくやりました」と笑顔で手際良く楽しんでおられる方もおられました。最後に、ちぎった色折り紙を目、口、でんでん虫の殻模様などに貼って出来上がり。昔、田んぼでよく聞こえたカエルの鳴き声や雨上がりによく見たアジサイの葉っぱの上のでんでん虫が懐かしいです。



デイサービス八重桜 西奈良

【リースローゲーム】



六月に入りましたが、今年の梅雨はのんびりしていますね。今月の新ゲームは「リースローゲーム」です。かごへ向けてビーチボールを投げてくださいました。ビーチボールには「カエル」、かごには「紫陽花」「カタツムリ」「傘」等と六月を連想するイラストを貼って季節を感じていただきました。籠までボールが届きにくいご利用者さまの為に、床にも蓮の花が貼ってある画用紙を置かせていただき、どなたでも楽しめるゲームにしました。普段は消極的でなかなか参加されないご利用者さまも今回「やってみようかな」と興味を持ってくださり、楽しかったのか「もう一回やらせて」と積極的にボールを投げておられました。「さっそく来月は点数やイラストを変えて楽しんでもいいかな」とご意見もあつたので、さっそく来月は点数やイラストを変えて楽しんでもいいかなと思います。

【父の日カフェ】

例年よりも遅く梅雨入りした六月の第三日曜日は父の日です。レクリエーションのゲームにはなかなか参加していただけない男性のご利用者さまに喜んでいただけるように「父の日カフェ」を開催いたしました。様々な飲み物を用意して、ご利用者さまにはドリンクバーのようにお好きな飲み物を選んでいただきます。そしてスイーツは車麩で作ったフレンチトーストです。女性のご利用者さまにはエプロンを付けて焼く作業をお手伝いしていただきました。主婦業を長くされていたので見事にひっくり返しておいしそうに焼いてくださいました。仕上げは元パティシエの施設長がデコレーションして豪華なスイーツが出来上がりました。そして感謝状とプレゼントをお渡ししてお開きとなりました。「たまにはこんなのもいいね」と喜んでいただき、男性のご利用者さまも全員参加してくださり満足していただけたようです。



生活に安心を「ぷらす」

松下 真人



三月より八重桜に入職しました、看護師の松下真人と申します。以前は市立奈良病院で働いており主に患者様の病態観察と点滴などの投薬、オペ準備、医師の回診の補助等が主な業務で振り返ってみると患者様と時間をとお話しする機会は少なかつたように思います。八重桜の訪問看護師として働かせていただく中でご利用者さまと向き合う時間も多く日々勉強の毎日です。

訪問看護とは、簡単に言うと在宅での治療継続のお手伝いです。そのため、「病気の治療・管理をゴールとする看護」が中心の病院に比べて、訪問看護では、「ご利用者さま・ご家族さまの意見や生活を尊重しながら、自己決定や自立を支援する看護」が求められます。

私たちは疾病と向き合いながらも在宅で無理なく生活できるように、自分らしく生活できるように幅広い目線からかわっていきたくと考えています。七月には訪問看護の全職員が精神保健に関する研修を終了致します。気持ち落ち込んだり、つらい方の相談にも専門的な知識を持って関わることが出来たらと思います。

ご利用者さまの生活に安心を「ぷらす」できる訪問看護を提供できたらと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

俳句教室発表句

(敬称を略します)

朝顔に 飯はまだかと 聞いてみる

田中 弘子

なんだかほっこりします。

この暑さ ビール注ぎて 焼きなすび

大城 聖三

ビールのあてに焼きなすび最高ですね。

梅雨明けに 窓に差し込む 光かな

高橋 春江

早く梅雨があけると良いですね。

幼な児の 足もと照らす 螢がり

大瀧 欣子

ほほえましい情景が浮かんできますね。

縁側に 螢飛び交う 夕涼み

石倉 信雄

優しい時間が流れている風景が思い浮かぶ、趣のある句ですね。

電線に我先に走る梅雨の空

住本 スミエ

窓から見た梅雨の情景がうかんできます。

梅雨寒の 雨の雫に 傘開き

豊崎 千代子

今年も寒暖差が大きく、体調管理が難しいですね。

梅雨の朝 色とりどりの 傘が舞う

三 柁 節子

雨が降るのが楽しみになるような、明るいイメージが浮かんできますね。

丸くとも 一かどあれや 人心

あまりまろきは ころびやすきぞ

坂本 龍馬

八重の家通信 22

八重の家ファーム

初夏のお日さまのもと、夏野菜が元気いっぱい実りました♪

プチトマト、茄子(薄紫の花がきれいです)、オクラにピーマンのスターティングメンバーたち。空に向かってぐんぐんと成長しています。中庭で野菜を育てる試みは、八重の家の開設以来、初めてのこと。心もとなない職員に優しくご教授くださるのは豊富な専門知識をもつご入居の方です。おしゃべりをしながら一緒に野菜のお世話をしていると楽しくてつい時間を忘れてしまいます。



土の香り、芽吹く緑、日々の成長を待ちわびる気持ちなど、自然のものに触れると心が癒されますね。ちなみに、茄子の花言葉は「語らい」です。中庭の野菜を通じてご入居の皆さま方の語らいが増えれば嬉しいです。

馳せ走る 食の匠 のひとりごと

米を食べよう

西 勝康



最近の新型コロナウイルスによる上海のロックダウンによる物流の停滞がロシアのウクライナへの侵略に対する経済制裁による天然ガス、石油の不足などの影響で小麦等の主要な食料品の不足、値上がりで大変困ったことになって来ている。でもこんな時こそ米を主食とする日本は小麦の代わりに米を使つてはどうでしょう。日本では昔からかしわ餅や団子、せんべいといった和菓子に使われてきましたが、昨今では米粉の製粉、加工技術が発達して、より粒子の細かい米粉を製造することが可能になり、パンやお菓子や製麺など用途が広がっています。更に米粉には小麦粉に含まれている「グルテン」がないのでグルテンアレルギーのある人にも安心して食せますしね。お米は健康食ですよ。詳しくは来月号で。